

期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和2年4月24日

香川県人事委員会委員長 関 谷 利 裕

香川県人事委員会規則第9号

期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

期末手当及び勤勉手当に関する規則（昭和38年香川県人事委員会規則第20号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

第1

改正後	改正前
<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第14条 略</p> <p>(1) 勤務成績が特に優秀な職員 <u>100分の115以上100分の190以下</u>（第5条の2に規定する管理又は監督の地位にある職員（以下「特定管理職員」という。）にあつては、<u>100分の139以上100分の230以下</u>）</p> <p>(2) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の103.5以上100分の115未満</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の124.5以上100分の139未満</u>）</p> <p>(3) 勤務成績が良好な職員 <u>100分の92</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の112</u>）</p> <p>(4) 勤務成績が良好でない職員 <u>100分の92未満</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の112未満</u>）</p> <p>2 略</p>	<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第14条 給与条例第4条第12項に規定する再任用職員（以下「再任用職員」という。）以外の職員の成績率は、当該職員の職務について監督する地位にある者による勤務成績の証明に基づき、当該職員が次の各号に掲げる職員の区分のいずれに該当するかに応じ、当該各号に定める割合の範囲内において、任命権者が定めるものとする。ただし、任命権者は、その所属の給与条例第14条の8第1項の職員が著しく少数であること等の事情により、第1号及び第2号に定める成績率によることが著しく困難であると認める場合には、あらかじめ人事委員会と協議して、別段の取扱いをすることができる。</p> <p>(1) 勤務成績が特に優秀な職員 <u>100分の117.5以上100分の195以下</u>（第5条の2に規定する管理又は監督の地位にある職員（以下「特定管理職員」という。）にあつては、<u>100分の141.5以上100分の235以下</u>）</p> <p>(2) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の106以上100分の117.5未満</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の127以上100分の141.5未満</u>）</p> <p>(3) 勤務成績が良好な職員 <u>100分の94.5</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の114.5</u>）</p> <p>(4) 勤務成績が良好でない職員 <u>100分の94.5未満</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の114.5未満</u>）</p> <p>2 略</p>

第2

改正後	改正前
<p>(勤勉手当の成績率)</p>	<p>(勤勉手当の成績率)</p>

第14条 略

(1)～(3) 略

(4) 勤務成績が良好でない職員 100分の83.5以下 (特定管理職員にあつては、100分の102.5以下)

2 略

第14条 略

(1)～(3) 略

(4) 勤務成績が良好でない職員 100分の92未満 (特定管理職員にあつては、100分の112未満)

2 略

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2の表の改正部分は、令和2年12月1日から施行する。